

ロートアイアン事業をPR 教室開校の準備が進む

小田鉄工(兵庫)

兵庫県のMグレードファブで軽量鉄骨の加工事業も行う、小田鉄工(加西市鴨谷町655、小田岳人社長)は7・8日、神戸市の国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ2016」に出展し、事業を紹介した。

同社は一昨年から、鉄を使ったインテリアや家具を造形する教室の開校に向けて、造形作家の技術指導や

兵庫県のMグレードファブで軽量鉄骨の加工事業も受けて準備を進めている。展示会では、同事業を「カヌチ工房」の名称に決めたことを発表し、インテリア製品や家具を展示して鉄を加工する楽しさを伝えた。来場者は「ショップで商品を見て興味があったが、自分で造れることに



驚いた」や「作ってみたと思っていた。教室ができれば通いたい」など興味

新社長登場



豊鉄工建設(栃木県)
豊崎 道教氏

とよさき・みちのり
1975年10月26日生まれ。産業技術短期大学卒、ヤンマーディーゼルの関連会社入社、02年に豊鉄工建設に入社。16年7月1日に社長就任。夫人と子ども2人と暮らす。趣味はゴルフと野球観戦。

7月1日に社長就任して2カ月が経つ。就任後、社員45名一人ひとりと話し合う場を設け、要望や希望などに耳を傾けた結果、役職などの責任を持たせることで、変わるこ

若返りを図った。社員の自主性を重視、大きな方向性以外は社員が自ら考えて実施するスタイルに変更した。現状では順調に展開している」と明言する。

自身の考え方に大きな影響を受けたことに日本青年会議所でのボランティア

「この業界は若い世代が選ばない業種となった。職種が多様化の中である程度は致し方ないところではあるが、業界の魅力を発信することが重要となる。企業は収益のみを考えるのではなく、企業が存続できるのは地域の

おかげと捉え、イベントへの参加や地域貢献活動を実践することも経営のひとつで、魅力も発信することができると強調。「今までとやっっていることが同じなので社長という実感がわかないが、ただ、自分の時間が少なくなかった」と苦笑いする。

人事

タカマサ(千葉)

社長に梅田正秀氏

ビルトH形鋼製作・鋼板切断加工業のタカマサ(本社工場 千葉県山武郡芝山



梅田正秀新社長

深く説明を聞いていた。当日は、展示内容やPR術で出展企業の中から優秀賞に選ばれ表彰された。

近年、ロートアイアンと

上 Ⅱ 出展したインテリア製品
下 Ⅱ PR技術でも高く評価され優秀賞を受賞



呼ばれる鉄の溶接・加工による造形を趣味とする人口が増え、簡単に溶接が行える機器などが発売されている。

同社では、事業として新分野開拓のほか、設備の稼働率向上や仕事

町)はこのほど、社主の梅田正秀氏が大河太社長の後任として9月1日付で社長に就任したと発表した。大河氏は取締役専務に就いた。

梅田 正秀氏(うめだ・まさひで) 昭和45年5月6日生まれ(46歳)。ソウル大学教育学院卒、梅田鋼板入社。その後、タカマサ、鹿島鋼機を経て、今年2月からタカマサ社主。昨年11月逝去した創業者の故梅田栄吉氏(享年71歳)の長男。

富山県	モトタニ鐵工建設株式会社	H形鋼材における柱梁接合の高精度化と高効率生産ラインの構築
福井県	オカモト鐵工株式会社	高速自動2軸短材コラムNC開先加工機による高精度開先加工技術の確立と生産性の向上
福井県	株式会社安間鐵工所	複雑な切断・加工に柔軟に対応するための設備の導入
静岡県	株式会社松尾鐵工所	溶接ロボットシステム導入による高品質製品の供給体制の確立及びタクトタイムの均一化実現による生産性向上
静岡県	株式会社飛鳥エンタープライズ	軽量鉄骨加工一式を受注可能となるための生産体制の構築
三重県	水谷鐵工株式会社	最新五面加工機導入により、工程改善と品質向上を実現させる
京都府	トウジ工業株式会社	多機能「先進ロボット溶接機」導入による製品分野の拡大多角化と新規需要の開拓多角化と新規需要の開拓
大阪府	株式会社ウチダ	鋼材の組付前形状加工による金型製造方法の革新
大阪府	株式会社井上工作所	複雑な加工および溶接を高生産性で実施するための製造工程の改善
大阪府	扶桑機工株式会社	最新モデル加工設備導入による新型免震部材の量産と省エネの実現
大阪府	株式会社タニシ	溶接ロボット導入による、建設用鉄骨材料の生産効率化と品質向上
兵庫県	小田鐵工株式会社	両面開先加工機導入による、橋梁用耐震鉄骨の一貫生産体制の構築
兵庫県	株式会社横山建設工業	開先加工機導入による、ボトルネック工程の解消と重量鉄骨の生産能力拡大
兵庫県	株式会社新免製作所	鋼材加工幅の拡大による、大型倉庫向け建設資材の供給力強化事業
兵庫県	株式会社ピークス	建設業界の技術潮流による売上げ阻害の加工要因を解消する事業計画
兵庫県	竹内鐵工株式会社	溶接工と溶接ロボットの技術融合による、高品質大型鉄骨の量産事業
兵庫県	和以貴建設株式会社	最新全自動溶接機の導入による大型鉄骨製作の体制構築と受注拡大計画
兵庫県	株式会社岩居建設工業	溶接工程の自動化による、高品質大型鉄骨資材の供給体制強化事業
兵庫県	株式会社福村鐵工所	鉄骨材料加工装置導入による大型材料の一貫生産体制の構築
兵庫県	株式会社足立鐵工	溶接ロボット導入による生産体制強化と性能評価アップを目指す取り組み
兵庫県	株式会社緒方鐵工所	大型及び高技術化建築物対応の設備導入による受注拡大と組織強化
和歌山県	株式会社興和製作所	橋梁耐震補修事業への本格進出にあたっての生産体制確立と品質向上
和歌山県	竹島鐵工建設株式会社	ビルドボックスの市場ニーズへの迅速な対応とタイムリーな供給体制の構築に向けたエレクトロスラグポータブル溶接機
島根県	有限会社森廣テック	3DCADと形鋼切断機の導入による生産性と品質の向上
島根県	有限会社江角鐵工所	H形鋼自動両側同時開先取機の導入により 大型案件受注と鉄骨部材の販路拡大
岡山県	株式会社勝山鐵工所	安心安全な建築物を支える鉄骨溶接の自動化による品質の安定化と短納期化の実現
岡山県	株式会社福田鐵工	Hグレード建築鉄骨を高い溶接強度と品質保証システムによる提供
香川県	有限会社荻原鐵工所	最新型複合加工機導入による生産性向上とニーズへの対応力強化
香川県	四国建築鉄工株式会社	最新型の柱大組立溶接システム導入による柱の製造強化、並びに他社連携による受注拡大
高知県	オーエス鐵工株式会社	新型開先加工機導入による高効率高精度化への取り組み
福岡県	有限会社田島鐵工建設	短納期、高品質等多様なニーズに応える為の溶接ロボット導入と、コア溶接技術の確立による業績向上
福岡県	株式会社久留米鐵工	多関節溶接ロボット導入による、溶接加工プロセスの改善
福岡県	株式会社堤鉄構	鉄骨柱の大組立溶接ロボットシステム導入による生産性の向上
福岡県	株式会社タナカ鋼建工業	自動溶接ロボット導入による加工能力と品質の向上、短納期化の実現
佐賀県	株式会社原田鐵工	柱大組立溶接ロボットシステムの導入
長崎県	株式会社タカギ建設工業	パイプ構造物の材料加工の高効率化を図り競争力強化と地域発展に貢献する
長崎県	株式会社平和鐵工所	H形鋼の一次加工内製化による精度向上と納期短縮上
長崎県	有限会社武田鉄骨	柱製作工程の自動化で生産工数削減・短納期を実現し、競争力を強化する
長崎県	有限会社向江建工	鉄骨の生産力の強化と品質向上のための最新型プラスト機の導入
熊本県	明和工業株式会社	耐震・免震物件および木と鋼を組み合わせた構造物に対応する特殊溶接技術の実現
大分県	中之島鐵工株式会社	鉄骨製作工程の見直しと最新設備導入によるQCDS改善への取り組み
大分県	神崎鐵工株式会社	建築物の大型化に伴う柱大組立溶接ロボット導入による、生産の効率化と高品質化
大分県	清松総合鐵工株式会社	最新型REGARC鉄骨溶接ロボット導入による高効率生産システムの確立
大分県	株式会社カケイ工業	高機能ホイストクレーン導入による効率化及び高品質化の実現
大分県	株式会社カマック	鉄骨天吊マルチワークシステム導入による溶接作業員の負担低減化、高品質、低コスト化
宮崎県	有限会社百市建鉄工業	最新の孔あけ・切断複合機の導入による生産工程の高効率化の実現
宮崎県	株式会社山口鐵工建設	溶接ロボット導入による鉄骨建築物の溶接工程の改善及び生産体制の強化
鹿児島県	株式会社池畑鐵工	最新鋭の溶接ロボットシステムによる 高品質化及び生産体制の強化を図る計画
鹿児島県	有限会社海野鐵工	形鋼切断機の導入で高品質化・高生産化を図り受注拡大に繋げる
鹿児島県	有限会社姫城鐵工建設	穴あけ・切断加工機導入と複合ライン自動化による高精度加工・能力向上・短納期の実施
鹿児島県	有限会社北園鐵工	新型バンドソーによる 作業工程プロセスの改善強化事業
沖縄県	株式会社宮昌工業	人手不足対策・技術向上・人材育成を図る最新コア溶接ロボットの導入
沖縄県	拓南鐵建株式会社	最新複合加工機による機械部品の加工効率の向上

学

学

補助金1次採択企業が決定 ファブ約80社が採択

中小企業「ものづくり補助金」

平成27年度補正予算の中
小企業庁の「ものづくり・
商業・サービス新展開支援
補助金」の採択企業が決定
した。このうち、全国鐵構
工業協会に加盟するファブ
は約80社(表)(県ごと・
受付番号順)となった。設
備投資は年内設置が条件と
されており、近日中に設備
投資が行われるとみられる。
内訳では、これまでロボ
ット溶接システムの導入が
目立っていたが、今回は新
分野への進出を目的とした
投資や老朽化した一次加工
設備などが大半をしめ、同
時に年内設置が条件だった

ものづくりをテーマにし
た補助金は平成24年度補正
予算から行われ、当初から
ファブ同士で申請方法や対
象となる投資などの情報交
換が行われている。そのた
め、年々、認知が広がり、
今では年間100社以上の
ファブが活用している。

こともあり、あらかじめ導
入製品を確保できた企業が
申請しているようだ。
このほか、これまで行わ
れていた小規模事業者の販
路開拓や資金繰り支援、人
材不足対策支援、後継者不
足のマッチング事業、所得
拡大促進税制など、人材や
給与などソフト面の経営支
援策も継続されている。
今回の補助金では新たに
TPP関連の海外進出をテ
ーマにした多数の補助金を
設けられ、農業や漁業にお
ける倉庫や設備への投資を
後押し、すでに間接的な鉄
骨需要が生まれている。
これに続く2次公募が7
月8日〜8月24日に行われ、
10月中旬に採択企業が決ま
る。採択予定件数は、全国
で100件程度が予定され
ている。

平成27年度「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」 採択企業 (全構協加盟ファブ)

北海道	株式会社カネミツ	溶接ロボット増設による付加価値製品製造ラインと短納期対応体制の確立
北海道	株式会社安田鐵工所	ロボット溶接鉄骨製造ライン構築のための溶接ロボットの導入
北海道	ライフ工業株式会社	鉄骨コアのロボット溶接による生産性の向上、地元市場の確保
北海道	株式会社残間金属工業	最新溶接ロボットシステムの導入による製造効率と品質向上による事業領域の拡大
北海道	旭イノベックス株式会社	生産能力向上・大型物件対応に向けた、鉄骨柱用の最新鋭鋼材切削機の導入
北海道	有限会社吉村工作所	鉄骨専用CADシステム導入による製品の高精度化および生産性向上対策
北海道	北榮興業株式会社	鉄骨コア連結「2アーク」溶接システムによる技術向上・生産拡大計画
青森県	丸八鐵工建設株式会社	超高速ドリルマシン+CNC切断機導入とネットワークによる管理手法
岩手県	株式会社カガヤ	自動2軸短材コラム開先加工機導入による生産プロセスの改善
宮城県	株式会社佐々木鐵工所	誰でも簡単に高品質・短時間で加工可能なH型鋼の溶接部分専用加工機
秋田県	千代田興業株式会社	施工図面の制度について効率化を最大限はかるための最新3D-CADの導入
秋田県	株式会社柳澤鐵工所	NC装置導入による高効率・高精度生産プロセスの確立
秋田県	東光鐵工株式会社	工程集約と複数設備ネットワーク化による生産性の向上
秋田県	有限会社佐々木製作所	曲げ加工技術対応力による、高精度・高付加価値加工の実現を図るための高性能プレスプレーキの導入
秋田県	藤嶋鐵工株式会社	鉄骨の溶接作業オートメーション化による競争力強化
山形県	有限会社鈴木製作所	NCマシニングセンタにより当社の技術力の向上を図り川下企業への貢献度を高める
山形県	有限会社加藤工業所	多機能型形鋼加工機の導入による加工時間の短縮と高精度化の実現
山形県	大翔建鉄有限会社	開先加工処理の機械化による加工処理品質の向上と作業効率の向上
茨城県	千波鐵工株式会社	プラズマ切断機の導入による難度加工・事業拡大・収益向上のものづくりの実現
栃木県	株式会社テクノスチールダイシン	鉄骨組み立てにおける信頼性向上のための治具による組み立て工法の開発
群馬県	株式会社群鐵	システム建築向け軽鋼階段の技術確立と高生産性ラインの構築
群馬県	株式会社鐵建	鉄骨製作の要である一次加工ラインの高度化と生産性の向上
群馬県	株式会社吉田鐵工所	エレベータ部品の品質向上及びメーカー増産計画対応
群馬県	旭鐵工株式会社	建築用鉄骨溶接ロボットとIoTの導入による品質と生産体制の強化
千葉県	株式会社タカマサ	新型穴あけ・切断加工機を導入した製造ラインの改善による納期半減と人時生産性30%向上への挑戦
新潟県	有限会社湯本建設工業	製造ライン(孔明け)の効率化と高精度化による生産性向上と競争力強化
富山県	株式会社北二	高強度鋼板厚50mm以上の大型鉄骨溶接を可能にする2アーム溶接ロボットの導入

工場見学会と第16回定例会を開催

TNBグループ

番貞鋼材と吉田鉄工所を見学

胴縁・モヤなど鉄骨二次

部材の外販加工メーカーで組織する鉄骨二次部材加工グループ(略称TNB、会長＝福岡賢・福岡社長)は16日、群馬県前橋市の鋼材特約店でこのほどTNBへの入会を承認した番貞鋼材(番場義男社長)と、同市に拠点を置くHグレードファブ、吉田鉄工所(吉田勝彦社長)を見学した。

TNB一行が初めに訪れた番貞鋼材は、鋼材の素材販売とともに加工販売も行い、本社工場で厚板切断加工とコラムの一次加工、第2工場で形鋼類の一次加工と胴縁加工などを手がける。このほどTNBに新規入会が決まり、そのお披露目を兼ねて一行を招いた。同社の加入により、TNBの会員数は9社となった。本社工場の見学後、第2工場で胴縁加工の工程を視察した。タケダ機械の全自動ユニットワーカー「UWF-150SII」と穴あけ切断複合機「CBF-3015W」を保有し、胴縁生産量は月間50t程度。胴縁加工を鋼材販売に付随するサービスのひとつと位置付け、県内のMグレード以下のファブを主



番貞鋼材で胴縁加工を視察

以下にファブを主

な販売対象とする。

見学を終えたTNB会員らは、「工場内が非常に片付いていてすっきりしている」、「材料及製品置き場所に余裕があって、作業がしやすい」と口々に讃辞を述べる一方、「製品置場と安全通路を明確に区分けした方が良い」といった改善点を指摘することも忘れなかった。

次いで県下の有力ファブでHグレードの吉田鉄工所・本社工場を見学した。同社は、番貞鋼材創業時から取引先ということで今回の見学会が実現。TNB一行は、全売上高の約60%を占める鉄骨製作部門の鉄構部、エレベーター部品をメインに土木部品なども製造している機工部、自動車部品・産業機械用部品を製造する機械部の3事業部それぞれについて生産工程を見て回った。

なかでも鉄構部は、自社だけで月間1000t、協力工場の分を含めると同2000tの鉄骨を手がけ、本社工場では柱部材を製作する。高さを超える大型サイズの鋼材に対応した一次加工設備を保有し、今年8月には本社工場にタケダ機械のワイドプレート用ドリルマシン「オートボーラー

ABP-1540GH」を導入。ガセットプレートを始め鋼板の孔明け加工をすべて本社工場に集約し、効率化を図っているという。見学会終了後、群馬県前橋市内で定例会を開催。胴縁製品の認定化や会員の増強などを議題に話し合ったほか、足元の山積み状況や受注単価の動向などについて情報を交換した。



吉田鉄工所前で記念撮影

店売り向けH形鋼販売据え置き 日鉄住金スチール・10月ロール

日鉄住金 スチール (本社・和歌山市、桂田光太郎社長)は、9月契約(10月ロール相当)の店売り向けH形鋼販売価格を対前月比で据え置くことを決

めた。据え置きは4カ月連続。下期以降の需要回復に期待を寄せ、需給バランスの維持に努めるとともに、製品販売を据え置いて市況の下支えを図る方針。

関西地区では緩やかな軟化基調が続いた形鋼市況にも下げ止まりの気配が出てきた。一部メーカーが「5月契約の店売り向け販売について表明した5000円程度の値上げの完全浸透を図る。条件が整い次第、さらなる価格改善を施行したい」との構えを示し、他のメーカー各社も原料炭の急騰や鉄スクラップ価格の上昇などコストアップ要因を抱え、追加値上げを視野に販売姿勢を強めているためだ。

一方、流通側にとってメーカーの値上げ分の転嫁を進めるのが難しい状況に変わりはない。在庫の山は低く過剰感こそないものの、荷動きが低調で「唱え上げに踏み切れる雰囲気ではない」とい「(特約店)という。このため、「市況の浮揚を促すようマーケット環境の整備が急がれる」(同)。

日鉄住金スチールは環境整備の観点から需要と特約店の在庫状況を見極めつつ引き続き慎重な引き受け姿勢を堅持するとともに、実需見合い減産体制を継続する。今後は追加値上げも視野に入れるが、当面は販売を据え置き、市況を下支えしたい考えだ。